

2020年11月号

J T C C ニュース (日本繊維技術士センターニュース)

I. (日本繊維技術士センターの行事予定)

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維J T C C」で検索できます。
「月間行事」「教育、講座」 (受講の申し込みや詳細はJ T C Cホームページをご覧ください)
2020年10月31日(土)に予定しておりました、フェスタ '20 J T C Cは中止になりました。
(代替え企画を検討中です)

< J T C C講座のご案内 >

(各講座は、コロナ対策を行っております。募集人員の制限、オンライン化など)

◆ 分かりやすい繊維ベーシック講座 (大阪、福井)

繊維について、基本的な事項を幅広く習得する事が出来ます。

会場	大阪	福井
場所	大阪産業創造館 6階	福井県中小企業大学校第1教室
日時	2020年11月14日(土) 12月5日(土) 12月12日(土)	2020年11月21日(土) 11月28日(土) 12月5日(土)
募集人員	38名	25名
受講料金	29,000円	29,000円
申込み方法	J T C Cホームページ参照	J T C Cホームページ参照
講義方法	対面方式	対面方式

◆ 「繊維の基礎 ~素材から製品まで~」講座 (全国)

繊維について、基本的な事項を幅広く習得する事が出来ます。

会場	東京
場所	オンライン講座
日時	Aコース 2020年11月1日(日)、8日(日) 9時20分~16時50分 Bコース 2020年11月7日(土)14日(土) 9時20分~16時50分
募集人員	各コース30名
受講料金	20,000円
申込み方法	J T C Cホームページ
講義方法	オンライン Teams利用

◆「知っておきたいアパレル製品の基礎知識」講座（全国）

繊維に関する営業、企画、生産、技術、品質管理、クリーニングなどを担当している方に、縫製や

アパレル製品に関する基礎的な知識や実用的な知識を分かりやすく学べます。

日時	会場	募集人員	受講料	申し込み方法
令和2年11月14日（土） 9時30分～17時	オンライン Teams利用	52名	7,000円	FAX 06-6484-6575 JTCC ホーム頁

◆「アパレル製品の基礎知識」講座（全国）

アパレル製品を取り扱っている方の必須の基礎知識を分かりやすく学べます。

アパレル製品に使用される材料の繊維の特性や生地製造方法、染色加工法、アパレル製品の企画・設計、縫製工程、

試験・検査方法、アパレル製品の品質表示や関係する法律などについて解説します。消費者クレームの問題解決策

について、詳細に説明します。

日時	会場	募集人員	受講料	申し込み方法
令和3年2月13日（土） 2月20日（土） 2月27日（土） 13時分～17時	オンライン方式 Teams利用	100名	20,000円	FAX 06-6484-6575

詳細は後日、ホームページをご覧ください。

◆「2021年度 技術士二次試験受験講座」（詳細はJTCCホームページを確認して下さい）

2021年3月より講義を開催します。

◆「技術士試験のオープンセミナー」（詳細はJTCCホームページをご覧ください。）

大阪会場、東京会場、福井会場のセミナーは、通信型セミナーで行います。

日程は後日連絡します。

◆JTCC「第81回 公開講演会」（繊維部会）

（詳細はJTCCホームページをご覧ください。）

回	テーマ(講師)	日時	会場
第81回 講演会	世界のテクニカルテキスタイルの最新開発動向 シオタニ&オフィス代表 塩谷 隆	2020年12月18日 13時30分～16時30分	大阪産業創造館 5階研修室 AB
	低炭素社会に向けた繊維産業の手立て JTCC 森本國宏		

公開講演会の参加費：2000円 資料のみは1000円

II. (業界ニュース)

1. 経済産業省

ものづくり/情報/流通・サービス

第四次産業革命に挑戦する中堅・中小製造企業への支援施策 何ができるのか、どんな効果がある

のか知りたい

2020年7月 経済産業省

- 先進事例集、IoT自己診断/費用対効果算定ツール P1
- 認定情報処理支援機関(スマートSMEサポーター) P3 何をすればいいか相談したい
- ロボットシステムインテグレータ(ロボットSIer) P4 手軽に低コストで使えるツールを知りたい
- スマートものづくり応援ツール P7 IoT等への投資を資金面で支援して欲しい
- ものづくり・商業・サービス生産性向上促進事業 P8 ものづくり・商業・サービス高度連携促進事業
- 新連携支援事業(商業・サービス競争力強化連携支援事業) P9 サポイン事業(戦略的基盤技術高度化支援事業)
- サービス等生産性向上IT導入支援事業 P10
- 第四次産業革命スキル習得講座認定制度 P11 IoT等の活用に取り組む企業とネットワークを作りたい
- ロボット革命イニシアティブ協議会(RRI)「中堅中小企業アク P12 ショングループ」
- 地方版IoT推進ラボ P14

詳細は、経済産業省のホームページをご覧ください。

2. 化繊協会、日本綿業振興会、日本染色協会

●化繊協会 (詳細は化繊協会のHP)

「内外の化繊工業の動向」2020年 上半期

概要 (2020年上半期)

2020年上半期(1~6月)は、新型コロナウイルスが世界全体のパンデミックに広がり、世界経済およびわが国の経済にも深刻な影響を与えた。日本では、4月以降約2ヵ月の緊急事態宣言により、経済活動は一時的に停滞、設備投資、消費など過去にない落ち込みとなり、物流や人の往来の制限により、輸出やサプライチェーンの分断で、国内外の経済が混乱した。こうした中、繊維需要は、緊急事態宣言に伴う、小売店舗の臨時休業や各種のイベントの中止、延期などが影響し、末端の衣料需要は大きく落ち込んだ。また、自動車生産、公共工事などが大幅に減少した影響から、自動車関連、産業資材関連など非衣料分野についても、衛材需要などの一部を除き、ほぼ全ての用途で大きく需要が収縮することになった。こうした需要の落ち込みは、第2四半期以降の化繊需給に影響を与えている。

詳細は化学繊維協会の「プレスリリース」を参照ください。

●環境

Sympatex、中古作業服をリサイクルへ

このほど、ドイツの Sympatex のフランス子会社 Sympatex Technologies は、環境負荷の低減を目的に、使用済みのポリエステル製作業服についてのケミカルリサイクル事業を進めることを明らかにした。

同社によると、2030 年までに、2011 年以来原料としてきた PET ボトルからのリサイクルポリエステルではなく、使用済みのポリエステル製作業服 100%を原料に使用したリサイクル繊維の製造を目指す。同社は既に、ドイツおよび欧州のさまざまなパートナー企業とテストを実施、Wear 2 wear プロジェクトにおいて使用済み衣類から完全にリサイクルされ、かつ使用後にリサイクルも可能なジャケットを開発している。

Sympatex は、2030 年までに同計画を進めるにあたり、FRIVEP 計画(Fill of Reuse and Industrial Recycling for Professional Apparel:業務用衣料品のリサイクルのためのリユースおよび工業リサイクルの取り組みに関する官民の業界横断型プロジェクト)の関係者、フランス国鉄、フランス郵政公社、フランスガス公社、CETI(欧州先端繊維研究センター)、フランス環境エネルギー管理庁との協力を進めていくという。

また、同社は英国のスタートアップ企業である Worn Again Technologies との協力を模索している。同社は英国にパイロット R&D 設備を立ち上げ、使用済みポリエステル製品から、リサイクルチップを製造している。同社は既に H&M、Kering などともケミカルリサイクル事業で提携している。

Sympatex は、今回の背景として、フランスでは廃棄物処理と循環経済に関する規制が近年厳格になっている、とりわけ、昨年 6 月の法律により、2021 年末または 2023 年末までに、繊維製品を含む食品以外の製品は、廃棄物処理できず、寄付またはリサイクルが必要。さらに、拡大生産者責任(EPR)によって、生産者が持続可能な製品を設計する必要があるなど、環境配慮デザインが求められる状況になるため、アパレル・ファッション業界からの需要が拡大することを挙げている。

●日本綿業振興会 (詳細はホームページ参照)

なし

●日本染色協会 (詳細はホームページ参照)

・なし

3. (一社) 日本衣料管理協会、(一社) 繊維評価技術協議会 (織技協)

● (一社) 日本衣料管理協会

TES 試験は、7月12日に実施されました。

受験者数 1829名 (前年比 50%) 合格者数 362名

試験結果の詳細は10月21日の織研新聞及び日本衣料管理協会のホームページで発表

● (一社) 繊維評価技術協議会(織技協)

・「紫外線遮蔽加工マーク」の認証開始について

「紫外線遮蔽加工マーク認証基準」が発表された。詳細は織技協ホームページ参照

● 関西ファッション連合

●『企業サイト・SNS 活用の基礎知識講座 ～企業情報発信の今を知る～』

経営者層・人事総務・管理職・広報担当の皆様 必見！

ビジネスから採用まで、今やあらゆる企業活動において、デジタルメディアの活用が欠かせなくなっている一方、社内の理解不足により組織的・戦略的な管理ができず、有効に機能していないという企業も少なくない。今後の更なる活用のためにも、経営者層や人事総務・管理職・広報担当者といった方々の理解が求められます。本講座を通し、企業情報発信の現状や活用事例を知ることで理解を深め、今後の取組の参考にしてください。

全4部 1部(約45分)ずつご覧いただく形式です。是非この機会に、ご視聴いただきたくご案内いたします。添付のセミナー案内文書の通り、上映会も開催いたします。参加ご希望の向きは、別途お申込みください。

<配信期間> 10月6日(火)～12月4日(金)期間中繰り返し受講可。

<対象者> 経営者層、人事労務・広報担当者・管理職 他

(JTCC 会員のみが参加できます。賛助会員は参加できません)

<講師> クロスメディア・コミュニケーションズ(株) 執行役員 美奈子・ブレッドスミス氏

<参加料> 組合員:無料

<申し込み> 関西ファッション連合のホームページから JTCC 会員であることを明記してください。

第1部 企業のコミュニケーション環境の変化と対応

第2部 コミュニケーションの目的を明確化する

第3部 ソーシャルメディアとその活用事例

第4部 ウェブサイトの見直しや運用のコツ

●『KanFA SDGs 取組み紹介サイト』に繊維企業の事例が紹介されています。

Ⅲ. (技術情報)

詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧ください。

◆<繊維学会誌> 2020年10月号

【特集】

- 次世代炭素繊維強化プラスチック開発に向けた検討 名古屋大学 入澤寿平
炭素繊維強化プラスチックは、風車、航空機、自動車など多くの用途があり使用されている。これまでの研究開発の経過を紹介している。
 - ・炭素繊維の新規前駆体開発
 - ・炭素繊維強化熱可塑性プラスチックの課題と対応
 - ・完全循環可能な炭素繊維強化プラスチックの提案（芳香族系の熱可塑性樹枝を母体とする物）
 - 機械解繊による高結晶性フィブロンナノファイバー材料の創製 京都工芸繊維大学 岡久陽子
フィブロンは、用途を広げるため繊維の強度アップやフィルム形状化が必要である。フィブロンをナノファイバー化して新規材料を開発する。フィブロンナノファイバーの基礎物性や複合化の展開を紹介する。
 - ・機械解繊による高結晶性フィブロンナノファイバー製造と性能評価
 - ・透明フィブロンナノファイバーシートの開発
 - 高分子の構造特性を利用した繊維の創製 群馬大学 攪上将規
高分子の構造特性に基づき、超高分子量ポリマー溶融体の流動特性および結晶構造形成による高強度繊維を作成した。高分子特性を利用し、有機—無機返還プロセスにより、ナノ構造化された繊維状セラミックスを創製した。
 - ・溶融プロセスによる超高分子量ポリマー繊維の作成
 - ・高分子特性を利用した有機—無機変換プロセスによるセラミックス繊維の作成
 - セグメント配列を利用した高性能ナノファイバーの創製 福井大学 坂元博昭
 - ・エレクトロスピンニング法により作成されたポリウレタンナノファイバーの表面観察
 - ・ナノファイバー表構造の変化による分子吸着特性
 - ・ナノファイバー表面に吸着したタンパク質の構造
 - ・ナノファイバーセグメントを鑄型としたナノ粒子一次元配列
- 【繊維学会記念連載】
- ・アパレル製造卸 成長の歩み2 激動の1970年代 繊維・未来塾 幹事 松下義弘

◆<繊維製品消費科学会誌> 2020年9月号

- ・カーペットの良さの科学的検証 日本カーペット工業組合 箱井英寿
- ・「SDGs への取り組みと環境配慮型繊維」
世界最高水準の植物由来原料比率を実現したスウェード調人工皮革—ウルトラスウェードの事業展開—
東レ 安藤克彦
- ・江戸小紋概史 東京都染色協同組合 富田 篤
- ・播州の縫製工場の現状と展望 (株)ソーイング竹内 笹倉清明
- ・第17回「苦情内容と取り扱い表示記号とその関係（その2）」
京都女子大学 榎本雅穂、元(株)レナウン 相馬成男、元瀧定 竹内 徹、
(一社)関西繊維商品めんでなんす研究会 西山 誠、(一財)ニッセンケン品質評価センター 内山雅章
- ・高齢者の歩行動態の解析に基づくつまづき予防靴下の開発に関する基礎的研究
京都女子大学 坂下理恵
- ・精神科入院患者に求められる寝具の色
福岡女子大学 原 やよい、庄山茂子 福岡看護大学 中嶋富有子

◆<繊維機械学会誌> 「月刊せんい」 2020年9月号

- ・スポーツブラの機能設計 (株)アシックス 瀧井靖歩
運動中の胸部挙動、強度挙動分析に基づいたスポーツブラの機能設計、強度挙動分析に基づいたスポーツブラの優位性
- ・DSCS (デジタル・ステッチ・コントロール・システム) について (株)島精機製作所 西野寿樹
横編機におけるループの形成方法、ループの大きさが変化する要因、さらに進化した↑DSCS
- ・テキスタイル製品の事故事例に学ぶ (一財)ボーケン品質評価機構 西山浩一

(月刊誌)

◆<加工技術> 2020年9月号

- ・SDGsに貢献する繊維産業の着眼点 森本技術士事務所 森本國宏
- ・CNF (セルロースナノファイバー) 事業化の歩み (下) 八木技術士事務所 八木健吉
セルロースナノファイバーの最近の動向について解説されている。
セルロースナノファイバーの使用事例が紹介されている。
- ・産業資材を中心とした直近の海外トピックス シオタニ&オフィス 塩谷 隆
健康・医療分野

◆<不織布情報> 2020年9月号
企業特集 滋賀県編

- ・滋賀県にある不織布製造関係の企業紹介が行われている。

◆<その他>

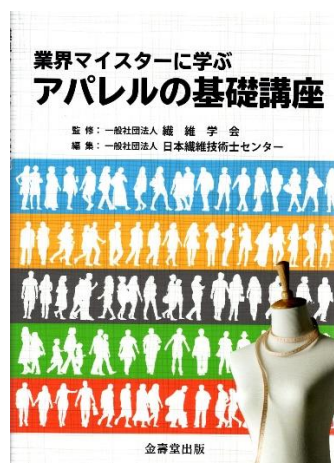
- ・なし

◆<講演会、講習会> (詳細は主催者のホームページ参照)

お願い：多くの講演会や研修会が中止或いは延期になっています。主催者の情報を確認してください。

◆<新書紹介> (詳細は主催者のホームページ参照)

- ・「業界マイスターに学ぶ アパレルの基礎講座」 金壽堂出版 価格 3500円+税
JTCCのメンバーが執筆しています。



お詫び

JTCC ニュース 10月号 JTCC「79回 公開講演会」の案内に箇所でお詫びの所を間違えてお詫びを申し上げます。

京都工業繊維大学名誉教授 → 京都工芸繊維大学名誉教授

IV. 企業紹介、製品紹介

日華化学株式会社



Beyond the Corona Crisis

Antiviral and Antibacterial effect

NICCANON[®] series


日華化学株式会社
 化学品部門 繊維化学品事業部
<https://nctexchem.com/jp>



ニッケ株式会社

<http://www.nikke.co.jp>

ウールをベースに無限の可能性を信じて、ニッケのチャレンジは続く

The Pride of NIKKE



Global Networking

糸から織物まで一貫生産を誇るニッケは、優れた企画力と伝統の技術力を活かし、ウールをベースに時代が求める各種素材の研究開発に取り組んでいます。In-Spiral Spin 製法による偏芯ラセン構造の糸《ニッケNagaragawa》、最高級のエキストラスーパーファインメリノを使用した《GOLDEN MAF》や希少なタスマニアウールをはじめ、さまざまな快適機能を付加したハイブリッドウール素材の開発など、これからもニッケのチャレンジは続きます。

 Golden MAF	 Vintage	 Cuba Beach
 School Tartan	 Golden MAF Chiffon	 Chiffon Double Georgette
 Vintage Mohair	 Vintage Serge	 Water & Oil repellent finish


 Since 1896 Japan

ニッケ 衣料繊維事業本部
 ユニフォーム事業部
 TEL 東京 (03) 3551-1293 大阪 (06) 6205-6663



変えていく。
資源循環型の社会へ。
CO₂排出量の少ない社会へ。
水や空気で悩むことのない社会へ。
一人でも多くの健康を守る社会へ。

素材で変えていく。
すべての出発点となる素材には、
社会を本質的に変える力がある。

私たちは今日も挑む。
発展と持続可能性の両立をめぐる
さまざまな世界的課題に。

そして、超えていく。
世の中の想像を。
極限を追求する情熱、技術、
そこから生まれる素材の力で。

'TORAY'
Innovation by Chemistry

素材には、 社会を変える 力がある。

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

ご希望の方は、Jtccnews@mbr.nifty.com に投稿してください。(掲載料金は無料です)

賛助法人会員様の声(技術的な問題, JTCCに対する声などをメールでお聞かせください)

連絡先:jtccnews@mbr.nifty.com

JTCCニュース用のメールアドレスは、Jtccnews@mbr.nifty.com です。

編集:一般社団法人 日本繊維技術士センター 企業接点強化部会 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本部事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail jtcc@nifty.com

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9(滋賀ビル506号室)

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail jtcc-kt@nifty.com

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

(公財)中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043(代) FAX 052-204-1469